



2025年5月19日

各 位

会 社 名 株式会社識学
代表者名 代表取締役社長 安藤広大
(コード番号7049 東証グロース)
問合せ先 上 級 執 行 役 員 池浦良祐
(TEL : 03-6821-7560)

M&Aによるハンズオン支援事業の本格開始のお知らせ

株式会社識学(東京都品川区、代表取締役社長 安藤広大)は、当社の子会社である株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ(東京都品川区、代表取締役社長 池浦良祐)を中心に、「日本の中小企業の価値ある技術やサービスを未来につなぐ」ことを目的としたM&Aによるハンズオン支援事業を本格開始することをお知らせいたします。

1. 子会社新設とハンズオン支援事業開始の背景

当社はこれまで組織コンサルティング事業で、経営者や管理職のマネジメント改善、採用・マーケティング機能改善、組織制度の構築及び運用定着の伴走を 4,500 社超へ提供し、また、ファンド事業においては、ソーシング、資本提携スキーム、管理機能の業務改善ノウハウを蓄積しつつ、識学を活用したハンズオンスタイルによる業績改善を進めてまいりました（検証結果の詳細は別項の M&A のコンセプト参照）。

一方で、日本国内における中小企業は、2015 年で約 400 万社から 2040 年には 300 万社を下回る予測が出る等、「事業承継」や「サービス、技術が優れているのにビジネス的な成長ができない」、さらには、それに関連して「従業員への還元（賃金上昇）がうまく進められない」といった状況があります。その中でも、製造業においては、これまでに日本経済を支えてきたことからわかる通り、良いサービスや技術を保有しているものの、上記の課題解決が進まず、大きな社会課題の一つとなっております。

そこで、当社が創業から培ってきたすべてのノウハウを活用し、新会社を中心に M&A 推進と適切な PMI を実行していくことで、対象会社の事業承継、事業成長、そして、その従業員への還元（賃金上昇）を実現できるものと考え、本事業を開始することといたしました。

2. 新設子会社の概要

本事業を実施する会社の概要は以下の通りです。

(1) 名称	株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ
(2) 所在地	東京都品川区大崎 2 丁目 9 番 3 号大崎ウエストシティビル 1 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長：池浦良祐
(4) 事業内容	買い手としてのM&Aの実施や対象会社のPMIの実行等を含む子会社管理
(5) 資本金	100万円
(6) 設立年月	2024年9月
(7) 経営理念	日本の中小企業の価値ある技術やサービスを未来につなぐ

3. 本事業の方向性について

本事業の方向性については、下記の通り、2025年4月11日開示済みの決算説明資料のp.25で記載させていただいております。なお、既に実施しているハンズオン支援ファンド事業は対象会社の株式売却により収益を上げるビジネスとなりますが、本事業は株式を保有し続け、その業績を連結取り込みしていく点が大きな違いとしてあげられます。



4. 本事業の取組方針について

当子会社における M&A 実施後のコンセプトは以下の通りとなります。

- ① 「技術やサービス」と「ビジネス」をつなぐ
識学の理解度の高いコンサルタントを派遣し、組織改善や機能改善を当事者として実施し、事業拡大や利益向上を狙います。
- ② 「技術やサービス」に関わる人々と「成長」をつなぐ
組織制度構築や定着を促し、既存の従業員の方々の成長を促進します。その結果、個人へ還元（賃金上昇）を当りにできる状態を目指します。
- ③ 「技術やサービス」を未来へつなぐ
個に依存しない組織・マネジメントを組織の標準とすることで、再現性と継続性を維持します。その結果、自走し変化し続ける組織状態を構築します。

なお、参考までに過去に弊社がハンズオンした会社の変化は以下の通りとなります。

項目	ハンズオン前	ハンズオン後
経営数値	・営業利益率8.4% ・債務超過	・売上高+46% ・営業利益率31.5%に改善 ・債務超過の解消
生産性	・慣習的な組織文化（紙文化、属人化） ・離職による技術の断絶 ・高技術所持者に依存する他責意識	・DXの導入による属人化排除 「日本DX大賞2024」ポスターセッション大賞受賞 ・新商品や工場ロボットの開発を行う企画開発に積極的な組織文化へ
労働環境	・県内平均より低い賃金 ・年間休日100日程度 ・働く場所・時間の固定化	・賃金上昇（ベースアップ・決算賞与導入） ・完全週休二日制 ・リモートワーク可能へ

5. その他

現段階では、本件が当社グループの業績に与える影響につきましては、軽微と見込んでおります。

以上